

# 独立行政法人国際交流基金 契約監視委員会（平成23年度第3回）

## 議 事 要 旨

- 1 日時：平成24年1月25日（水）14：00-16：00
- 2 場所：独立行政法人国際交流基金 第1セミナー室（9階）
- 3 出席者：
  - （1）委員（敬称略）  
碓井光明委員長、渡邊一弘委員、鷲尾悦也委員
  - （2）外務省  
若杉文化交流課予算班長
  - （3）国際交流基金  
安藤理事長、田口理事、柳澤総務部長、下山経理部長、福田監査室長、  
正野会計課長、審議案件担当者
- 4 主要議事：
  - （1）前回指摘事項に関する対応について（報告）
  - （2）再委託案件及び一者応札・応募案件について（報告）
  - （3）個別案件の審議
  - （4）来年度以降の開催について（討議）
- 5 主要議事概要：
  - （1）**前回指摘事項に関する対応について（報告）**  
今年度第2回委員会で指摘された事項への対応状況を、事務局より報告した。
    - ア．再委託承認手続きについて  
市場化テスト等に対応するため、通達「委託契約に係る一括再委託の禁止について」を改正する。
    - イ．共催分担金に対する基金の統制のあり方について  
基金の共催分担金を使用する一定金額以上の契約については、共催相手方と、協議することとする。
    - ウ．初年度に競争的契約を締結し、同相手方と同様の業務について次年度に締結する契約について  
概念を整理し、周知徹底を図ると共に、随意契約を締結する場合

は契約金額の見直しを徹底する。

エ．一者応札・一者応募回避について

広報の充実を図り、必要に応じて入札参加資格を拡大する。

## (2) 再委託案件及び一者応札案件について (報告)

今次委員会の検討対象となる契約のうち、再委託が行われた案件の概要を事務局より報告した。一者応札・一者応募は該当案件なし。

## (3) 個別案件の審議

### ア 平成23年度日本研究機関支援寄贈用図書(洋書/和書)

委員：過去の類似の入札に参加していた業者が今回参加しなかった理由は何か。

基金：本のように定価が決まっているものについて、割引率で競うという方法をとると、業者の利益率が低く、魅力が薄いようである。

委員：本件について特に問題はない。

### イ 平成23年度公演主催事業「琉球・沖縄芸能大洋州公演」公演団契約

委員：予定価格と契約金額の差が大きい理由は何か。

基金：主に謝金額による。通常、謝金にある程度の幅を持たせて出演交渉をしているが、今回は出演時期が交渉相手の閑散期に当たり、基金にとって有利な条件で引き受けてもらえたためと思われる。

### ウ 公開系ウェブサーバー構築移行業務委託契約

委員：競争参加資格について、「C」だけでは十分な参加者が見込めないとした理由は何か。また、「B」だけではなく「A」も参加させることとした理由は何か。

基金：本件はすでに1度入札を行っており(競争参加資格は「A」～「C」)、その際に応札者がなかったことを受けた、再入札案件であったため。実際に入札に参加した業者を見ると、落札者のほかに参加した者は「A」であり、結果的に「A」を含めることによって一者応札を回避することができたといえる。

委員：前回入札のあと、アンケートを実施して委託業務範囲を二分割したにもかかわらず、今回2者しか集まらなかった理由は何か。

基金：応札前の提案書作成時において必要となる、システムエンジニアが確保できなかった(費用対効果上、確保するに至らなかった)ことが考えられる。落札できなくとも実工数が発生することから、本腰を入れて落札を狙う案件以外、提案書作成までに至らない状況であると思われる。

委員：入札不調になった場合随意契約を締結できるというのはどこで決まっているか。たとえば、もう一度入札を実施したら落札するという可能性はなかったか。

基金：入札によって落札者が決定しなかった場合は随意契約によることができるということは、会計規程で定まっている。一方、再度入札を行うこともできるが、本件についてはすでに一度入札不調になった案件であることもあり、公示期間を設けて再度の入札を行うと、事業開始が遅れるという支障が生じてしまうため、入札説明書で、「再入札を2回行って落札者が決定しないときは随意交渉を行い、随意交渉は総合評価点の順に行う」旨説明している。なお、契約金額は予定価格を下回っている。

委員：本件については特に問題はない。

#### エ 「樺太時代の史跡保存事業報告書」ロシア語版作成業務委託契約

委員：競争性を高めるとして、2級上位まで含めてしまうと、「D」が不利になり、等級を設定している意味が薄れてしまう印象を受けるが、どのように考えるか。

基金：本件業務は翻訳が主であるが、翻訳業務は企業の規模によってその質や価格が左右されることが少ないため、上位2社の参加を認めても、Dの業者に特段不利にはならないと考える。

#### オ 事業情報システムの再構築における設計・開発、保守業務

委員：システムで低価格入札が行われた場合、落札者はその後の保守管理で随意契約を結び、低価格で入札した差額を回収していくイメージがあるが、当該業務については、システム稼働後の保守管理に競争性を導入する余地があるか。

基金：本件は、保守を含む5年間の総額（年度ごとの内訳つき）で入札を行っているため、2年目以降の保守業務についても競争性は確保されている。

委員：総合評価方式の入札の場合の、技術点と価格点の配分はどのように決めているか。

基金：案件ごとに、入札の決裁において決めている。

委員：技術点と価格点の配点や採点方法について、契約の種類ごとにある程度定めることが可能ではないか。例外的対応をとる余地も残しつつ、ある程度定めておくのが良い。過去の例の蓄積から、長期的な課題としてそのような取組をしてはどうか。

#### カ 2010年度年報制作（デザイン・編集）業務

委員：編集はともかく、デザインは初年度のものを翌年度も使えるのではないか。

基金：継続性も重要ではあるが、新規性も大事であり、そのバランスを考慮した。

#### （4）来年度以降の開催について

来年度は開催回数を3回とすることで、委員の了承を得た。ただし、具体的

な開催時期及び1回当たりの審議案件数については、次回（平成23年度第4回委員会）で再度審議することにする。

以上

## 契約監視委員会(平成23年度第3回) 案件一覧

No.	契約名称及び内容	契約の相手方	契約方法	契約金額
1	平成23年度日本研究機関支援寄贈用図書(洋書/和書)	日本出版貿易株式会社	一般競争	2,287,538 円
2	平成23年度公演主催事業「琉球・沖縄芸能大洋州公演」公演団契約	株式会社ミュージックウェーブ	随意契約	7,482,253 円
3	公開系ウェブサーバー構築移行業務委託契約	株式会社ケーエムケーワールド	随意契約 (入札不調)	14,070,000 円 (うち平成23年度分: 4,882,500 円)
4	「樺太時代の史跡保存事業報告書」ロシア語版作成業務委託契約	株式会社プロスパー・コーポレーション	一般競争	877,590 円
5	事業情報システムの再構築における設計・開発、保守業務	日本電気株式会社	一般競争	131,250,000 円 (うち平成23年度分: 21,000,000 円)
6	2010年度年報制作(デザイン・編集)業務	有限会社岡本健事務所	随意契約 (企画競争)	3,096,450 円